

ちびっこ チャンピオン

「ゆきだるまとトナカイ」

銀杏保育園のなかよしたち

(上段左から)

かわむら つむぎくん (4さい)
 おおかわ ときおくん (4さい)
 おの あつきくん (4さい)
 やまざき りゅうせいくん (4さい)
 おおかわ けんしょうくん (5さい)

(下段左から)

こばやし さ らさん (6さい)
 やまざき は なさん (5さい)
 ふくだ れ くん (5さい)
 おの ゆい かさん (6さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは、お誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



ゆくと 優翔くん
(岩崎上) R2/12/18生

「もうすぐ1歳！たくさん遊んで元気に成長してね。お姉ちゃんに負けるなー！」



うた 宇汰くん
(追良瀬) R2/12/11生

「宇汰のババとママにしてくれてありがとう！」



さくと 朔叶くん
(柳田) H28/12/12生

「お調子者で優しいにーにです(´▽`)」

草創教育長の

「今月の一枚」

上から見る

この絵も説明が必要ですね。八甲田大岳から井戸岳を見下ろすかいた絵です。丸くすり鉢状に見えるのが噴火口。左下に避難小屋。私にしては珍しく登山の途中でかきました。その時、通りすがりの若者が、はるか向こうに広がる海を指さしながら、「あれは十和田湖ですか？」と尋ねてきたのを覚えていました。

様子があまり真剣だったので、「いえ、方角からすると陸奥湾ですよ。」と、丁寧に返ししましたが、方角も違うし第一あんなに大きな湖があるものかねと、正直、少しこっぴどいと思えました。

ふつう、高い所に上ると、視野も開けて正しく位置など判断できると思うのですが。

高い所から見下ろすように、物事の全体を把握すること「俯瞰する」と言ったりします。鬼籍に入られましたが、女優の樹木希林さんには「存じでしょう。私の年代には、『寺内貫太郎一家』で『ジュリエット』と悶えるフケ役、個人的には映画『母の記』で演じた認知症の老母役に強い印象が残っています。そのベストセラー『一切なりゆき』から引用します。

「私はお仕事で関わっている人達を、自分も含めて俯瞰で見

ようになっているんです。そうすると自分がその場でどんな演技をするべきかがとてもよくわかる。」

立ち上げの際、自分や他の人の動き全体が、上から見るようによくわかるということなのでしょう。自分さえ俯瞰できる、というのがうらやましい。幽体離脱して自分を眺めている感覚？ドローンで自撮りしている感覚と言った方が今風でしょうか。今の自分を、過小も過大評価もなく客観的に見て分析し、メタ認知できる。

この能力さえあれば、組織内での自分の立ち位置や最優先になすべき役割、進むべき方向まで見えてきそうです。ついでに、まわりで奇妙に動き回る仲間を戒めることもできるかもしれません。

実際、樹木希林さんも、おかしな芝居をする人を「何やってんの、あんた。」と遠慮なく叱ったそうです。「だから私は嫌われる」とも書いていました。自分も俯瞰する。子どもにも大人にも難行です。たまに叱られた方がいいですね。(教育長 草創 文人)

